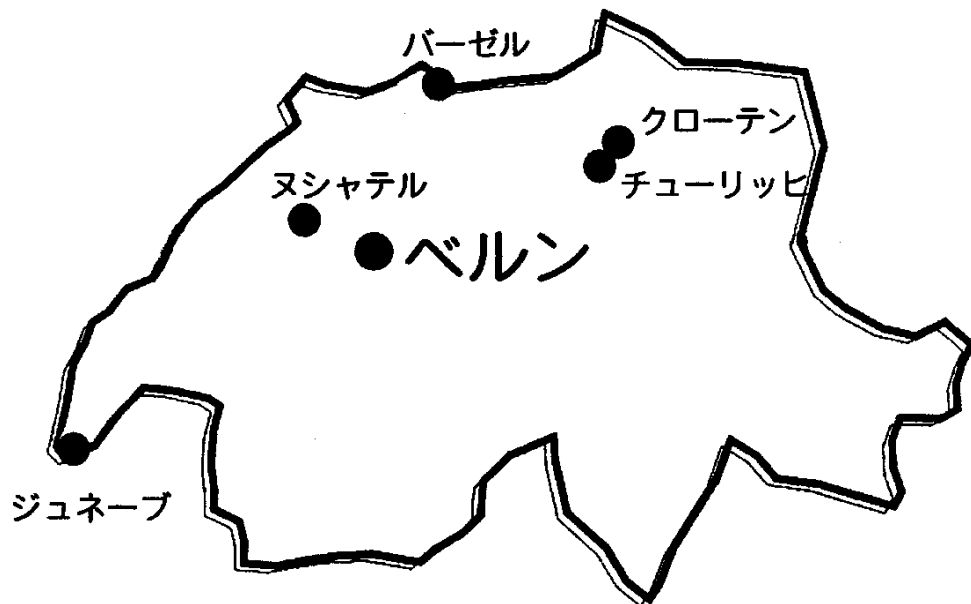


スイス日本語教師の会

Verein der Japanisch-Lehrkräfte in der Schweiz
Association des enseignants de Japonais en Suisse
Associazione degli insegnanti di giapponese in Svizzera
Association of Japanese teachers in Switzerland

スイス日本語教師の会

秋のセミナー 報告書



於 ベルン 日本国大使館多目的ホール

2023年9月3日(日)

目次

ご挨拶.....	2
セミナー 日程.....	3
講義資料.....	4
「教科書を教える」？「教科書で教える」？——授業力ブラッシュアップトレーニング 国際交流基金ケルン日本文化センター 日本語教育アドバイザー 東 健太郎 先生	
グループワークのまとめ.....	14
感想文 荒川ゴリュ 知佳.....	18
感想文 ブーニケ湯本 宏美.....	19
2023年 秋のセミナーアンケート結果 (回答 35名)	20



東 健太郎 先生

ご挨拶

2023年9月3日、夏が戻ってきたような秋晴れの日、在スイス日本国大使館多目的ホールにて、2023年秋の日本語教育セミナーが開催されました。講師には、国際交流基金ケルン日本文化会館 日本語上級アドバイザー東健太郎先生をお迎えし、「『教科書を教える』？『教科書で教える』？」というテーマで行いました。

今更ではありますが、授業を行う上で「理論」と「実践」は車の両輪のようなもの、どちらか一方だけでも上手くいかないのは皆様もよくご存知でしょう。また、スイス日本語教師の会には、専門的に日本語教育を学ばれた方から、縁があって日本語を教え始めたばかりの方まで、さまざまな経歴、経験をお持ちの方がいます。理論と実践をバランス良く学ぶにはどんなセミナーが良いのだろう、と考えた時に思い浮かんだのが、東健太郎先生でした。そして、東先生も私たちの希望を汲んでくださり、ガニュの9教授事象、ケラーのARCS動機付けモデルといった理論、東先生のご経験を踏まえた実践の数々を惜しげもなくご紹介くださいました。教え始めた頃は必死でも、4、5年経って教科書が一通り終わった頃にはできている「つもり」になってしまう、そして10年20年と時が経ち、ふとした時に「マンネリ化している？」と気づく…すらすら教案通りにできることに安心し、日本語授業ロボットと化していることに満足していた…私自身のことですが、同じようなことを感じている方は多いと思います。セミナーの詳細は、東先生からの講義資料と荒川ゴリュ知佳さん、ブーニケ湯本宏美さんが書いてくださった感想文をお読みいただくのが一番ですので、どうぞゆっくりご覧ください。

東先生の軽妙な語り口に笑いを誘われましたが、先生の経験されてきたこと、何もないところから教材を作り、学校を作り運営する行動力、そして学習者への愛情、教育への熱意を間近に感じたことも大きな収穫です。改めてお礼申し上げます。

また、「セミナーで学んだことを自分の授業に活かす」ということも、わかっているけれどなかなかできないことの一つですが、会員のチュウミ晶子さんがフォローアップ勉強会を企画してくださいました。このようにセミナー後も学びを共に深めていけるのも、教師の会ならではの素晴らしいことではないでしょうか。

この秋のセミナーは、新役員体制になって初めてのセミナーです。企画段階では前会長、役員がたが、春のセミナー後に経験や知識、アイデア豊富な3人が抜けた後は迷うことも多々ありました。そのような時、歴代の会長、役員だったらどうするだろうとよく考えたものです。臨機応変に対応してくれた役員、そして参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、スイスにおける日本語教育を支援し、セミナー会場を提供してくださる在スイス日本国大使館のご助力に心から感謝致します。今回も在スイス日本大使館日本広報文化センター川原剛所長に開会のご挨拶をいただきました。また川原所長及びフローリッヒ・マルティナーさんには準備からセミナー当日まで大変お世話になりました。会を代表して心よりの感謝を申し上げます。

このセミナーが皆様の日本語教育の世界を広げる機会となれば幸いです。2024年春のセミナーで再びお目にかかれそうですように。会員の皆さまのご健康とさらなるご活躍を役員一同心よりお祈りしています。

2023年秋 吉日
スイス日本語教師の会 会長
ミューレバツハ名倉千春

セミナー 日程

2023年9月3日（日）

09:30-	受付開始
10:00	開会のあいさつ
10:05	写真撮影
10:15-12:00	講義1 「教科書を教える」？「教科書で教える」？①
12:00-13:15	昼食
13:15-15:05	講義2 「教科書を教える」？「教科書で教える」？②
15:05-15:15	休憩
15:15-15:45	講義3 ブラッシュアップトレーニング（グループワーク）
15:45-16:15	ふりかえり
16:15-16:45	Q&A
16:45	閉会

記念撮影





「教科書を教える」? 「教科書で教える」?
-授業力ブラッシュアップトレーニング-

スイス日本語教師の会
2023年度秋のセミナー
国際交流基金ケルン日本文化会館
東 健太郎 Kentaro_Azuma@jpf.go.jp

JAPAN FOUNDATION
JAPANISCHES
KULTURINSTITUT
PROGRAMME

本日の流れ

1. 教科書を教える? 教科書で教える?
2. マンネリ化しない授業の組み立てをデザインする
3. 学習意欲を高める授業・教材をデザインする
4. 授業力ブラッシュアップトレーニング

本日の目標


参加者同士が教師力・授業力をブラッシュアップするための具体的な経験とアイデアを共有する

現在の授業の組み立てをガニエの9教授事象に基づいて振り返り、デザインする

ARCSモデルと実践例に基づいて学習意欲を高める授業・教材がデザインできる

➡ **実際に授業で使える・やってみる**

「教えるのがうまい」、「教えるのが下手」…
いわゆる「**教師力**」「**授業力**」って何なんでしょう?



教師力/授業力が高い教師の
具体像をメモしておきましょう

5



では、あらためて

1. 「教科書を**教える**」? 「教科書**で**教える」?



あなたはどちら？



- ① それぞれのイメージを簡単に書いてください。
- ② メリットとデメリットを思いつくり書き出してみてください。

	教科書を教える	教科書で教える
○		
×		

教科書を教える



教科書の内容を指導書などを参考にして、そのまま教える。
練習問題や宿題は付属（準拠）教材を使用。

日本語を

教科書で教える



学習者のレディネスやニーズに合わせて、教科書の内容を教える。
練習問題や宿題は付属（準拠）教材だけでなく、必要に応じて自作教材を使用。



レディネス

学習者自身の状況を表すもの
年齢・職業・国籍・母語
学習経験（日本語・外国語・その他）
学習環境（時間・教材・インターネット・その他）
学習スタイル（好き・苦手・学習習慣など）
個人差

ニーズ

学習者が望んでいることや必要だと感じていること

「教科書を教える」のメリットは？

- ・授業準備が比較的短くて済む
- ・同じ教科書を教えるのに習熟できる
- ・指導書・教え方の手引を参照しやすい
- ・付属教材をそのまま使える
- ・教師経験が浅くても教えやすい



「教科書を教える」のデメリットは？

- ・学習者個々のレディネスやニーズに対応しづらい
- ・教科書以外の質問への対応が困難
- ・不慣れた教材に対応しづらい
- ・どのクラスでも同じ授業になりがちで、授業がマンネリ化に陥りやすい
- ・教師力・授業力の伸び悩み



「教科書で教える」のメリットは？

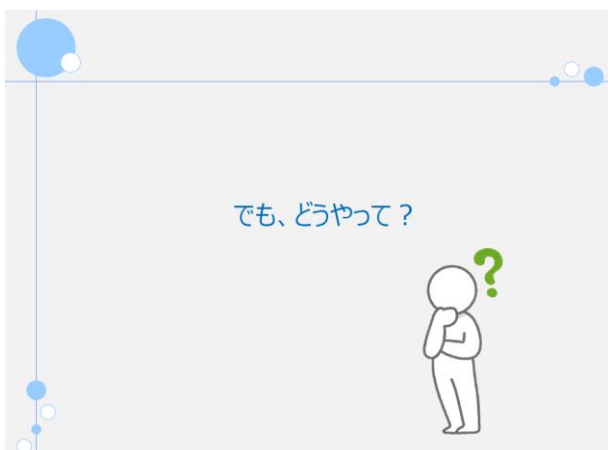
- ・学習者個々のレディネスやニーズに対応しやすい
- ・学習者の個別の質問に対応可
- ・クラスや学習者に合わせて指導可
- ・教師力・授業力の向上につながる



「教科書で教える」のデメリットは？

- ・授業準備、教材準備に時間がかかる
- ・比較的経験を必要とする
- ・教師間のコミュニケーションを要する





Instruction Design
インストラクショナルデザイン：授業の青写真を描くこと

教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して学習支援環境を実現するプロセスのこと

ガニエの9教授事象、ケラーのARCS動機づけモデル、ADDIEモデル、キャロルの学校学習モデル、プランソンの情報技術モデル など

鈴木克明（2015）『授業設計マニュアル Ver.2 -教師のためのインストラクショナルデザイン-』北大路書房 20

授業・教材をデザインする

ガニエの9教授事象
授業の組み立てをデザインする

ARCS動機づけモデル
学習意欲を高める内容にデザインする

2. 授業の組み立てをデザインする

どのように授業計画を立てていますか？



授業 (対面 & オンライン) はマンネリ化していませんか？



日本語授業ロボットになっていませんか？

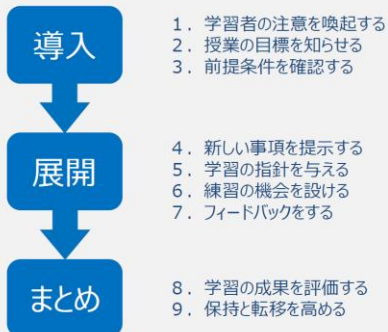


ガニエの9教授事象
をもとに授業を見直しましょう！



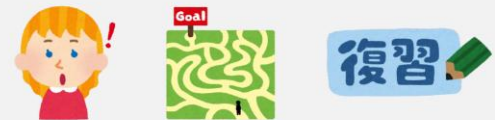
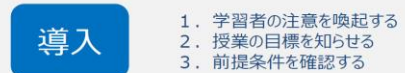
26

ガニエの9教授事象 (ロバート・M・ガニエ：学習心理学者)
学びのプロセスに遡って授業・教材の構成を考えていくための枠組み



鈴木克明 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2 -教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房

ガニエの9教授事象 (ロバート・M・ガニエ：学習心理学者)
学びのプロセスに遡って授業・教材の構成を考えていくための枠組み



導入

1. 学習者の注意を喚起する
2. 授業の目標を知らせる
3. 前提条件を確認する



情報の受け入れ態勢をつくる

- ・パッチリ目が開くように、変わったもの、異常事態、突然の変化などで授業を始める
- ・今日もまたあのつまらない時間がきたと思われないように、毎回新鮮さを追求する
- ・「え！どうして？」という知的好奇心を刺激するような話題を使う
- ・エピソードやこぼれ話、問題の核心部分など面白そうなところからいきなり始める

鈴木克明 (監修) (2016) 『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

まずは雑談から始めてみては？雑談こそ実践練習！
授業に関連する話題、天気、髪型・ファッション、週末の出来事/
予定、朝ごはん、時事ニュース、スポーツ結果、趣味、ドラマや映画、
音楽、家族の話、日本の話題 etc.



導入

1. 学習者の注意を喚起する
2. 授業の目標を知らせる
3. 前提条件を確認する



頭を活性化し、重要な情報に集中させる

- ・ただ偶然と時を過ごすことがないように、「今日はこれを学ぶ」を最初に明らかにする
- ・どんな点に注意して話を聞けばよいか、チェックポイントは何かを確認する
- ・今日学ぶことが今後どのように役に立つのかを確認し、目標に意味を見つける
- ・目標にたどりついた時に、すぐにそれが実感できるように予めゴールを確認する

鈴木克明 (監修) (2016) 『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

時間に追われ、目的地を告げずに見切り発車してしまいがち！
学習者に授業の Before - After を明示して、実際にどう使えるのか具体例や場面を提示しましょう。



導入

1. 学習者の注意を喚起する
2. 授業の目標を知らせる
3. 前提条件を確認する

復習

今までに学んだ関連事項を思い出す

- ・新しい学習がうまくいくように必要な基礎的事項を復習し、記憶をリフレッシュする
- ・今日学ぶことと既習事項との関連性を明らかにする
- ・既習事項は忘れていたのが当たり前と思って、改めて確認する方法を考えておく
- ・復習のための確認小テスト、簡単な説明、質問等を工夫する

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

当日の授業に集中するあまり、「過去の授業」と「今後の授業」を含めたロードマップ全体を見落しがちです。コースを意識し、学習者が「覚えるべきこと」、「できたほうがよいこと」、「忘れても/できなくてもよいこと」を整理しましょう。

ガニエの9教授事象

（ロバート・M・ガニエ：学習心理学者）
学びのプロセスに遡って授業・教材の構成を考えていくための枠組み

展開

4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会を設ける
7. フィードバックをする

展開

4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会を設ける
7. フィードバックをする

何を学ぶかを具体的に知らせる

- ・手本を示す/確認の意味で、今日学ぶことを整理して伝える
- ・一般的なレベルの情報だけでなく、具体的な例を豊富に使う
- ・学習者にとって意味がわかりやすい、身近な例を選ぶ
- ・図やイラストなど、全体像がわかりやすく、違いがとらえやすい表示方法を工夫する

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

どうしても教科書の例に固執しがちです。学習者がイメージしやすく、関連性が高い例を選びましょう。実際の使用場面を想定して、「使えるように」教えます。図・イラスト・音声・動画・レリアなど、五感を駆使して！

展開

4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会を設ける
7. フィードバックをする

意味のある形で覚えられるような助言を行う

- ・既習事項との関連を強調し、既有知識とつなげて頭に入れる
- ・よく知っていることとの比較、たとえ話、比喻、語呂合わせなど使えるものは何でも使う
- ・思い出すためのヒントをできるだけ多く考え、ヒントの使い方も合わせて使えるようにする

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

さあ、教師の腕の見せどころです！学習者にいかに新出事項を覚えられるようにするか、「心に刺さる」アドバイスを提示しましょう。授業に鉄板はないので、クラスや学習者に合わせた説明をいくつか準備しておきましょう。次のスライドの「記憶のメカニズム」も参考にしてください。

【参考】記憶のメカニズム

門田修平（2018）『外国語を話せるようになるしくみ シャドーイングが言語習得を促進するメカニズム』SBクリエイティブ

展開

4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会を設ける
7. フィードバックをする

頭から取り出す練習をする

- ・自分の弱点を見つけるために、本番前の予行演習を失敗が許される状況で十分に行う
- ・自分で実際にどれくらいできるのかを、手本を見ないでやってみて確かめる
- ・最初は部分的に手本を隠したり、簡単な問題から取り組むなど、練習を段階的に難しくする
- ・応用力が目標とされている場合は、今までと違う例でできるかどうかやってみる

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

教科書の練習だけにこだわらず、必要な練習を必要だけに行いましょう。スモールステップで小さな成功体験を積み重ねながら、実際の使用場面を想定して、「使えるように」練習しましょう。「失敗は成功の母」、失敗しても大丈夫な環境づくりに配慮しましょう。

展開

4. 新しい事項を提示する
5. 学習の指針を与える
6. 練習の機会を設ける
7. フィードバックをする

学習状況を把握し、弱点を克服する

- ・成功にはほめ言葉を、失敗には助言をプレゼントする
- ・失敗から学ぶために、どこがどんな理由で失敗だったか、どう直せばよいかを追求する
- ・失敗しても何の不利もないう安全性を保障し、失敗を責めるようなコメントを避ける

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

どうしても「まちがいを探し」に陥りやすいので、注意！！ミスがあっても、よかった部分・以前よりもよくなった部分はどこか、今後どうすればよくなるのかをアドバイスしましょう。「誰かのミスから、クラスのみんなに気づきを与えられる」フィードバックを目指しましょう。

ガニエの9教授事象

（ロバート・M・ガニエ：学習心理学者）
学びのプロセスに遡って授業・教材の構成を考えていくための枠組み

まとめ

8. 学習の成果を評価する
9. 保持と転移を高める

まとめ

8. 学習の成果を評価する 9. 保持と転移を高める

成長を確かめ、学習結果を味わう

- 学習の成果を試す「本番」として、十分な練習をするチャンスを与えた後でテストを実施する
- 本当に目標が達成されたかを確実に知ることができるよう、十分な量と幅の問題を用意する
- 目標に忠実な評価を心掛け、首尾一貫した評価（教えていないことをテストしない）とする

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

テストは何のためにするのか、もう一度考えてみましょう。「テストのためのテスト」ではなく、学習目標の到達度、つまり、現在は「何がどこまでできて、何ができないのか」を確認する場として位置づけましょう。

まとめ

8. 学習の成果を評価する 9. 保持と転移を高める

長持ちさせ、応用がきくようにする

- 一度できたことも時間が経つと忘れるのが普通。忘れた頃に再確認テストを計画しておく
- 再確認の際には、手本を見ないでいきなり練習問題に取り組み、まだできるかどうか確かめる
- 一度できたことを応用できる場面（転移）がないかを考え、次の学習につなげていく
- 達成された目標についての発展学習を用意し、目標よりさらに学習を深めていく

鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房

「もう！教えたのになんでもできないの!？」は今日で卒業しましょう。人間は忘れる生き物。手を変え品を変え、何度もスパイラルに学習し、どんどん応用できるように工夫しましょう。次のスライドの「エビングハウスの忘却曲線」も参考にして、復習＆再確認テストをスケジュールしてみましょう。

【参考】エビングハウスの忘却曲線

The Forgetting Curve

【記憶の忘却率】どのくらいの記憶が失われているか

- 20分後 → 約40%
- 1時間後 → 約50%
- 9時間後 → 約60%
- 1日後 → 約70%
- 6日後 → 約75%
- 1か月後 → 約80%

【節約率】その知識を再び学習する際に「どのくらい時間を節約することができるか」

記憶からの経過時間	節約率
20分	58%
60分	44%
9時間	35%
1日	34%
2日	27%
6日	25%
1か月	21%

エビングハウスの忘却曲線

3. 学習意欲を高める内容にデザインする

第2 言語習得における個人差はなぜ起こる？

第2 言語習得における個人差の要因

学習ストラテジー、言語適正、ピリーフ、性格、動機づけ

動機づけ = 学習意欲って？

動機づけ

- 何かを始める理由やきっかけとなるもの
- 言語学習を続けることや、どのくらい努力するかといった学習のプロセスにも影響を与える

外発的動機づけ、内発的動機づけ、統合的動機づけ、道具的動機づけ

奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版



外発的動機づけ
外部から与えられる目的や理由に基づくもの



内発的動機づけ
自分の内部から湧きでる関心や好奇心が源泉となるもの

統合的動機づけ
目標言語話者や社会に肯定的な感情を抱き、そのコミュニティに参加するために学ぶというもの

道具的動機づけ
進学や就職、資格の取得など実利的目的を達成する手段として学ぶもの

奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版



第二言語の理想自己
将来こうなりたいという理想の姿と現在の自分の語学力とのギャップを埋めたいという思いが、学習の原動力になっている

奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版



動機づけの減退

動機づけの減退を起こす要因

- 教師に関する要因
- 授業環境に関する要因
- 学習者の失敗経験に関する要因
- 目標言語に対する興味の欠如

奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版




教師に関する要因
例：説明方法、目標言語能力、学習者に対する態度など

動機づけストラテジー
学習者の動機づけを高めるための教師の働きかけ
例：教材やタスクの内容の改善、励ましや声かけなど



奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版

どうすれば「やる気」を引き出すことができるか？




ARCS動機づけモデル をもとに
授業・教材の具体例を見てみましょう

53

ARCS動機づけモデル（ジョン・M・ケラー：教育工学者）
どうすれば「やる気」を引き出すことができるかを考えるための枠組み

- A 注意** attention 「おもしろそうだな」
- R 関連性** relevance 「やりがいがありそうだな」
- C 自信** confidence 「やればできそうだな」
- S 満足感** satisfaction 「やってよかったな」

鈴木克明（2015）『授業設計マニュアル Ver.2 -教師のためのインストラクショナルデザイン-』北大路書房

ポイント②
学習意欲を高める内容にデザインする

ARCS動機付けモデル (ジョン・M・ケラー：教育工学者)

A 注意 attention おもしろそうだな

A-1 知覚的喚起 学習者の興味をひくために何が出来るか？
驚きのある・物珍しみのある・ユーモアのある事象を提示する、抽象的ではなく具体的に、図などの視覚的手段を用いる

A-2 探究心の喚起 どうすれば探求的な態度を引き出せるか？
好奇心を刺激する、問題の提示や解決への関与、問題を学習者に作成させる、これまでの知識との矛盾を提示、疑問や謎のなげかけ、学習者のなげを大切に

A-3 変化性 どうすれば学習者の注意を維持できるか？
マンネリを避ける、声に抑揚をつける、環境を変える、普段と違う授業の組み立て、気分転換をはかる、ダラダラ進めず時間を区切る

鈴木克明 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2 -教師のためのインストラクショナルデザイン-』北大館書房 pp115の表より抜粋

実践例紹介 探究心の喚起
学習者が分担して自習用教材を作成

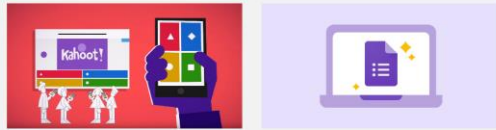
Quizlet

「まるごと」のA1～B1の各クラスで、学習者に語彙・漢字(読み)の自習用Quizletの作成を分担

【メリット】
・教師の負担が減る
・与えられた教材よりも、自分たちで作った教材の方が意欲が持続しやすい
・Quizletは簡単にシェアができる



実践例紹介 探究心の喚起
学習者が復習用小テストを作成



「まるごと」のA1～B1の各クラスで、学習者に文法、語彙、漢字の復習クイズを作成を分担
Kahoot!やGoogle Forms (テスト作成機能) などのオンラインツールを活用

【メリット】
・教師の負担が減る
・学習者の視点で学びをフィードバックできる
・学習者が既習の文法、語彙、漢字を意識できる
・お互いに刺激し合って、ユニークなクイズが生まれる

ポイント②
学習意欲を高める内容にデザインする

ARCS動機付けモデル (ジョン・M・ケラー：教育工学者)

R 関連性 relevance やりがいがありそうだな

R-1 目的指向性 どうすれば学習者のニーズを満たすことができるか？
意義のある目標設定、将来的価値の指摘、今努力することのメリットの強調、目的を自分で決める

R-2 動機との一致 いつどのようにして学習者の学習スタイルや興味に関連づけられるか？
学習活動自体を楽しませる、友だちとの共同作業、非対抗の競争、ゲーム化、目標達成の手段を自分で選ぶ、安心感や心地よさを与える

R-3 親しみやすさ どうすれば学習者の経験と授業を結びつけることができるか？
親近感の持てる(身近な)例、学習者の関心のある得意分野からの例、これまでの勉強とのつながりの説明、比喩やたとえ話、学習者を名前で呼ぶ

鈴木克明 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2 -教師のためのインストラクショナルデザイン-』北大館書房 pp115の表より抜粋

実践例紹介 動機との一致
大学&地元紹介動画作成プロジェクト



日本の提携校の学生の訪問前に大学及びマーストリヒトの街の紹介動画を作成し、提携校に共有した。SNSを使って日本語学科内で投票を行うコンテストを実施した。

【メリット】
・実際に訪問予定の日本人学生に伝えたいという高いモチベーションで取り組めた
・訪問した日本人学生から直接感謝されたことで満足度が非常に高く、やりがいを感じられた
・日本語のミスは気にせず、「伝わるビデオ」の作成を重視したので伸び伸びと取り組めた
・入学希望者や学内からの評価も高く、日本語学科の学習成果のアピールにつながった

実践例紹介 動機との一致
SNSの日本語



自分の国の生活と文化情報や日本生活についてSNSに投稿したり、コメントしたりするための日本語に特化した授業を実施

【メリット】
・投稿よりもむしろコメントを重視し、コメント例文集を渡してゲーム形式(コメント100本ノック)で楽しみながら練習
・写真とシンプルな日本語を使い、投稿のハードルを下げた
・授業後は日本語でのSNS使用が増えて実用的

実践例紹介 親しみやすさ
ローカライズ教材 カタールで日本語



カタールの生活と文化にローカライズしたコンテンツを制作
イスラム教徒に配慮したムスリムフレンドリーなトピックや表現、イラストを使用
教科書 PDF無料公開 & 音声コンテンツ ポッドキャスト配信中

【メリット】
・カタールでの7年間の経験をもとに、現地で日本語を学ぶ大学生や社会人の実際の会話場面や生活に特化した「ご当地限定コンテンツ」を制作
・現地の地名や施設、イベントを取り入れた「今からすぐ使える」実用的なコンテンツ
・イスラム教やカタールの生活習慣をシンプルな日本語で話せる

実践例紹介 親しみやすさ
ローカライズ教材 カタールで日本語ができるまで



実践例紹介 親しみやすさ ローカライズ教材を作ろう!

【登場人物】

- 身近な人物や、国・地域で有名な人を起用する
- まずは名前をローカライズすることから始める
- 実際の学習者や先生のキャラクター（性格、趣味など）をそのまま生かすと一体感が生まれる

【地名・施設・店舗】

- まずは観光地やレストラン、スーパーなどをローカライズする
- 学習者がよく行く場所、関心のある場所を採用
- 会話の場面も地元に着き換えると、より実用的に

【トピック】

- 生活と文化をローカライズする
- 地元の習慣やイベント（季節ごとの催しや宗教行事、祝日、スポーツ大会など）を取り上げる
- 学習者が、地元の日本人（友人・家族）に日本語で話してみたい話題を、どんどん取り上げる

実践例紹介 親しみやすさ ローカライズ教材 シャドーイング

『みんなの日本語』の各課のローカライズシャドーイング教材を作成
教材とオーディオファイルは学習者に共有し、宿題として毎回授業開始時に練習

【メリット】

- 各課の教材には学習者が登場
- 学習者の情報（趣味、アルバイト、嗜好、近況等）に基づいているので、お互いを知る機会になった
- 大学のあるマーストリヒトの地名や観光地、店が頻出するので学習者同士の雑談力が向上

実践例紹介 動機との一致・親しみやすさ オリジナル多読ブック作成&多読

国や町の紹介、昔話、学習者や教師の体験、授業で扱った日本文化・習慣など、学習者の興味・関心に合わせて多読ブックを作成
学習者のレベルに応じて、語彙や文法をコントロール

【メリット】

- 授業で扱ったトピックをもとに、学習者のレベルに合わせた多読ブックが提供できる
- 学校や施設の規則や、日本のルールなどを多読ブックとして作成
- 自分の好きな本を、好きなペースで、好きな時に読めるので自律学習に最適
- SNSをうまく活用して、おすすめ本のシェアやコメント&感想をシェアすることで多読との相乗効果

ポイント② 学習意欲を高める内容にデザインする

ARCS動機付けモデル (ジョン・M・ケラー：教育工学者)

C 自信 confidence やればできそうだな

C-1 学習要求 どうすれば成功の期待感を持つように支援できるか？
ゴールの明示、頑張ればできそう・高すぎずすぎないゴール設定、チャレンジ精神の刺激、目標との隔たりの確認、評価基準の提示

C-2 成功の機会 学習経験がどのように自らの能力に対する信念を高めていくのか？
一歩ずつでき具合を確かめながら進ませる、リスクなしの練習の機会、失敗から学ぶ環境、過去の自分との比較による成長の実感、やさしいものから難しいものへ

C-3 コントロールの個人化 成功の結果を自らの努力と能力によるものと認識できるか？
自分が努力して成功したという実感を持たせる、個別のペースで、学習者が学習方法を制御できる、勉強のやり方やヒントの提供、選択式ではなく記述式のテスト

鈴木 克明 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2 - 教師のためのインストラクショナルデザイン』 北大路書房 pp115の表より抜粋

実践例紹介 学習要求・成功の機会 スモールステップ 質問の型

会話練習や会話試験、雑談の際に、学習者の会話レベルに合わせて質問の型を突き上げる

【メリット】

- 同じトピックでも学習者のレベルに応じて対応
- 学習者の学習状況が把握できる
- できる学習者もできない学習者も、それなりに満足

閉鎖型質問 → 開放型質問 → 具体的な説明を求める質問 → 抽象的な意見を求める質問

Yes/No 問、何時、いつ、どこ、どれ
どうして、なぜやっ? [X]について話して欲しい [X]について教えて欲しい
ナレーション・描写
意見述べ、反論、仮説 (将来の展望)

実践例紹介 学習要求・成功の機会 スモールステップ テキストタイプ

4 技能の活動において、レベルに応じてテキストタイプを使い分けた練習を行う

【メリット】

- 同じトピックでも学習者のレベルに応じて対応
- 学習者の学習状況が把握できる
- できる学習者もできない学習者も、それなりに満足

単語・語句 → 単文・複文 → 段落 → 複段落

実践例紹介 コントロールの個人化 Self-study Trip エッセイコンテスト

国際交流基金関西国際センター外交官・公務員研修で毎年開催
観光や体験を通して収集したリソースを活用してエッセイを作成
自主研修旅行のエッセイコンテストを実施
初年度は5人が応募し、応募作品は製本して贈呈 & 配架
研修生と職員による投票で優秀賞を選出

【メリット】

- A2レベルでも写真を組み合わせて、読み応えのある作品ができる
- 多読ブックを実際に自分で作れたことで大きな自信がく
- 旅行先でお世話になった人や施設に送ると非常に喜ばれた
- 翌年以降の研修参加者の見本となり、多読ブックとして追加

ポイント② 学習意欲を高める内容にデザインする

ARCS動機付けモデル (ジョン・M・ケラー：教育工学者)

S 満足感 satisfaction やってよかったな

S-1 自然な結果 どうすれば獲得した知識やスキルを活用する機会を提供できるか？
成果を生かすチャンス、応用問題への挑戦、設定した目標に基づく成果の確認、学習者同士で教え合う機会の提供

S-2 肯定的な結果 何が学習者の成功を強化するだろうか？
ほめて認める、教師からの励まし、何らかの報酬を与える、成果の重要性や利用価値の強調、成果を喜び合う仲間づくり、できたことに誇りをもたせる

S-3 公平さ どうすれば自らの成果を肯定的にとらえるよう支援できるか？
えこひいきなしの公平感を与える、皆一貫した授業運営を行う、テストに引っかけ問題を出さない、期待（授業中の約束事）を裏切らない

鈴木 克明 (2015) 『授業設計マニュアル Ver.2 - 教師のためのインストラクショナルデザイン』 北大路書房 pp115の表より抜粋

実践例紹介 肯定的な結果 ふりかえりポッドキャストを配信

こんな人？



中級クラスの授業後にクラス全員にポッドキャストを限定配信。
話す内容は、その日の授業の振り返りや、文法や語彙の再確認、クラスでの雑談、トピックに関する付加情報、次の授業の連絡事項、教師の近況など



【メリット】

- ・クラスの一体感が生まれる
- ・言い忘れたことや、付け加えたいことを伝えられる
- ・授業外に日本語を聴く時間が増える
- ・授業以外の共通の話題が増える

4. ワークショップ



授業の組み立てをデザインする

学習意欲を高める内容にデザインする



分担して、シェアできそうなアイデアも大歓迎！

みなさんの教育現場でやってみたい
アイデアを出し合ってください。

どんだん

経験

+

セミナー

本日の目標 Can-doチェック

- 参加者同士が教師力・授業力をブラッシュアップするための具体的な経験とアイデアを共有する
- 現在の授業の組み立てをガニエの9教授事象に基づいて振り返り、デザインする
- ARCSモデルと実践例に基づいて学習意欲を高める授業・教材がデザインできる
- 実際に授業で使える・やってみる**

参考資料

- 鈴木克明（2004）『教材設計マニュアル：独学を支援するために』北大路書房
- ケラー、J.M. / 鈴木克明（監訳）（2010）『学習意欲をデザインする－ARCSモデルによるインストラクショナルデザイナー』北大路書房
- 稲垣忠・鈴木克明（2015）『授業設計マニュアル Ver.2－教師のためのインストラクショナルデザイナー』北大路書房
- 鈴木克明（監修）（2016）『インストラクショナルデザインの道具箱101』北大路書房
- 門田修平（2018）『外国語を話せるようになるしくみ シャドーイングが言語習得を促進するメカニズム』SBクリエイティブ
- 奥野由紀子（編著）（2021）『超基礎・第二言語習得研究』くろしお出版

グループワークのまとめ

授業後のポッドキャストより

授業の最後のふり返しとして、生徒に
町をさせるのはどうか (中3クラス)

1人が全部話すのは負担が大きい?
数人で分担したらいいのでは。

録音する? 目的による。

- ・その場でまとめて話す
- ・一度時間を置いて思い出す

低学年でもできるのでは

練習が重要。まず教師がやってみせる?

グループ 1

ペルセニコ長森 千枝
小川 理恵
クレニン道上 まどか
宮崎ストレスレ 梓

2

- 日本から来る家族に 自分の住む村、町を紹介する

- 親の出身地 (日本) を紹介する。(親も参加)

-

調べて

- 夏休み (の旅行) の レポートビデオ

- ニュース発表

グループ 2

紀ワイルド 恵子
幸野 真美
ラム鈴木 麻理
ゴチ 祐理子

スイス語の生徒 (高学年、中学年3~6以上)

3

① - 電車の利用生徒が: 日本で電車旅行する → 会社形式 パワー、録音機、

- ・切符を買う。
- ・ダイヤ、乗り換えをみる。 → 駅員さんに聞く場面を想定して。
- ・行き方 → 乗り換え「教習視」 → 自分で調べる。地図帳を使ってみる。
- ・ご当地弁当、グルメ、名物。 → 人に聞く練習
- ・レストランの会話

② - スイスに観光に来た日本人の手助けをする。 → 会社形式

- ・場所、道案内。
- ・交通機関の乗り方、切符の買い方、フリコラへの説明、罰金の説明。
- ・トイレの場所、探し方。日本にあるとスイスにはない! コレはここ。
- ・お店の開店時間、日曜日は全部閉まる!
- ・博物館、美術館。スイスでも月曜休み、ルーヴルは同じ。

グループ 3

金子 典代
ワルツァー 貴美子
小川 知香子
ムーリ高杉 昌子

グループ4

フックス清水 美千代
ミューレバツハ名倉 千春
伊豆川マーティ 葉子
高田 千春

グループ5

水野 裕香
カイザー青木 睦子
サルペリ 文
鈴木 理香

(継承語)

とこは

高学年 (低学年も可能)

やり方はおまかせ

④
高田千春
フックス美千代
伊豆川葉子
名倉千春

- ・ 学習者がやりたいテーマ
知りたい話などを取り上げる
- ・ レベルのちがう生徒たちは特に、テーマ学習
が必要
- ・ クラス内ではお互いを理解していること
(レベルも含め)
- ・ お互いを助け合う学習
- ・ お互いの中に一番面白かったことをお話し

低学年、本気の字をかかせる。自分で選ぶ

- ・ 日本の言葉にこだわらず、現地で
使う言葉にしよう

細かいことにとらわれすぎないように
気をつける。日本語を嫌いになったら
本末転倒。

グル-705

- Padletを使う。宿題をやる。

・ WhatsApp グル-705を作る。

・ 自己紹介のテレポート作り。

・ インター

・ 各自のじしよを持って来よう。

・ NHK 7-104 activate your Japanese.

アイデア

6

一、細かい計画を立てない。どの何と何が決まれば、後は臨機応変に。アランBをうまく使う。

二、一、会話を作り(クラス中に生徒が一緒に)

二、一、クラスの中で小さなテストを準備させてやらせ、交換させてやらせ。

④ サングラニシタ (書いてもらう。違う生徒に渡し、返事をさせる。)

中級レベル 単語の課。各自が行ったところを発表させ。(2分/回) 発表好き 質問させ

二、一、年度末にレベル別のクラスも一緒に発表会をする。(小グループ→新年度)

三、一、インタビュー形式のものを作って、お互いにインタビューをさせる。

毎回増えている。その程度繰り返す。

ローマ字のテンプレートも作って、会話に集中させる。

705を生徒が作る。

グループ6

メルロ 栄子
クラウド 伊都子
ドルダー猪股 史子
シュワルツエネッガー竹本 真砂子

グループ7 (ロースやす子, 川亦洋子, 小林みち, 形たあきこ)

- JLPT 受験者に向けて
 - ① Attention として Quizlet で学習.
 - Kahoot!
- にほんごホリデー Nohongo con Tepper を送信.
 - "英語と日本語"
 - 今日学習したことを一人ずつ録音し. 配信. ①
- NHK-Webnews-easy → スマホアプリ ①
- NHK-Webnews
- ネットの新聞
- SNS -- Youtube を見て. YouTuber にコメント.
 - ①
 - 韓国人, ベトナム人. 3人 自己紹介 ①
- WhatsApp

- グループ7
- 田嶋チュウミ 晶子
 ロース牧野泰子
 川亦洋子
 小林美智

グループ8

授業の組み立てをデザインする
 学習意欲を高める内容にデザインする

学習意欲を高める
 授業の組み立て

テーマを決めて その場について話し合う (日本語) ⇒ 交流
 (場外) (場内) ⇒ 交流
 日本/スズ ⇒ 交流

Speech Cafe

- レベル 1, 3, 1, 3 → そのための 勉強法 123
- 90分間 土日曜
- 8fr./person 5ヶ国語
- テーマは 先生が決める
- レベル 2, 2, 2, 2, 2 全曜日 - 交流
- 12fr./person

日本の印刷材と授業作り
 オンライン授業
 交流

- グループ8
- ドイリオツティ山口 厚子
 岩井 純子
 デーゲン北楯 かずみ
 ヴァルティ なぎさ

グループ 9

- 個人の状況に合わせて対応!
- シニア → 일본에 여행
주에 2~3회 What이든 What이든
音声付きで ① 1-2) 送る.
- 10才まで → 音ね+訓読みさせた歌を SNSで 送る
한자 組み立て方を 音声で =リスニング音読
自分の動画を 게시판에서 share. TEAMS.
- シブイング → 短い文から 始めて 文に なる.
• 方言 → 雑談に 発展 できろ.
- 個人 → 合わせた 教材 作り やすい.
- マンガ - Naruto - LINE を 送る こと から.
- 演習 自作 → イラスト 付き まで.

グループ 9

クンツ鈴木 美津子
荒川 知佳
ブルフ森川 里香
湯本 宏美
ホデル ふあそ
里信 邦子スピリグ

グループ 10

- ① 「みんなの日本語」の L1 の 「おじき」 を ぶんくませろ
- ② NHK の "News Easy" の 好きな 記事 を 選んで 発表
- ③ 歌舞伎 の ビデオ を 見せる などの 文化 紹介

グループ 10

フェイダー石川 佳世子
マンゴールド吉田 克子
ローサー佐々木 敦子
モジマン中西 生子
渡辺ロッフエル 芽

感想文

荒川ゴリュ 知佳

「教科書を？で？」すでにこの助詞の使い方から、改めて日本語の難しさを実感しスタートしたセミナー。私は普段授業で日本の小学校で使用されている教科書を教材として使っている。日本で使用される小学校の国語の教科書は民間で著作、編集された後、文部科学大臣が教科書として適切か否かを審査した図書である。作成にはプロジェクトチームが結成されて、何年もかけて吟味されて修正もされながら作られている。そのため、内容も言葉一つをとっても意図的で非常によく考えられている。だからこの1冊を教材として、内容をしっかり伝えておけば、学習者はきっと理解してくれる、できるようになる、と日本語授業ロボットは教えていたつもりになっていかもしい。しかし実際、目の前にいる学習者は、レディネスもニーズもそれぞれなので、彼ら一人一人の意欲を引き出すこと、そのために、彼らの親しみやすい教材、モチベーションに結びつく教材、個々が達成感を感じられるような教材へと工夫して使う、あるいは開発していくことが大切だということがよく分かった。

また、今回の研修は自分自身の授業について見つめ直す機会ともなった。授業の組み立てをデザインすることは、ガニエの9教授事象に基づいて一つ一つ確認していくこと、学習意欲を高めるためには、ARCS動機づけモデルに沿って確認し、「やる気」を引き出していくことである。一つ一つ丁寧に説明してくださった東先生の実践例や具体的な方法をお聞きし、これまでの自分自身の授業デザインでは全く不十分だったり、新たな可能性を発見したりと、視野を広げることができた。今後ぜひ行動したい。

紹介してくださった実践例の中で、ローカライズ教材には興味が湧いた。学習者が生活する地元は親しみやすく、日本語を使って表現したいという意欲や必要性に結びつけやすいのではないかと思う。また、振り返りポッドキャストも、常に時間との戦いにもなっていることや、クラスの一体感をねらう私にとって、とても素敵なアイデアだと思った。

昼食であんなにプリプリした美味しい黒胡麻豆腐の後、午後の講義はまるでランニング20km完走後のようになってしまうそうだったが、ワークショップでは新しい出会いや授業アイデアを得られとても有意義だった。私にとっては久しぶりに対面でのセミナー参加となり、とても勉強になったのはもちろんのこと、教師会のメンバーの皆さんにお会いでき、心にもエネルギー補給ができた。

最後に、東先生、本当にありがとうございました。そしてセミナーの企画、運営にご尽力下さった役員の皆様にも心より感謝申し上げます。

感想文

ブーニケ湯本 宏美

日本語教師として経験の浅い中、ドキドキしながら なんとか「教科書を教える」というところから始めて、今後 もっとレディネスやニーズに合わせて「教科書で教える」事も出来るようになるには、どの様に授業をデザインしたらよいか、そして どの様な事を大切にしたらよいか、沢山の具合的な例、アイデアと共にご紹介くださり、学ぶ点が多くありました。まさに聴きたかったテーマでした。

個人的には、特に「インストラクショナルデザイン」について学ぶ点が多くあった様に思います。導入、展開、まとめ、それぞれに 自分の授業で改善させる部分があり、自分のレッスンを振り返る大変よい機会を頂きました。早速 出来るところから始めてみます。頂きましたチェックリストも 今後 折々に参照し、授業を振り返って改善していけたらと思っています。

今回、お恥ずかしながら初めて「インストラクショナルデザイン」や「ARCS 動機づけモデル」について知り、現在受けている育児についてのオンラインコースがとてもよく組み立てられていることに気が付きました。又、昔 ドイツ語学習時にお世話になった先生の授業を思い出し、ドイツ語だけでなく授業のデザインについても学ぶ点が多々あった事に改めて気づきました。ドイツ語学習の経験から雑談の大切さや、作文がよい個人情報収集!?!になることなどについても深く頷きながら拝聴しておりました。学習者の視点も併せ持ちながら今後のレッスンに活かしていければと思います。

その他、モチベーションを維持させるためにも 何が出来るか、グループワークで各先生方が 実践されていることを伺うことが出来ました。役員の皆様、学びの多い 有意義な機会をオーガナイズくださりまして ありがとうございます。

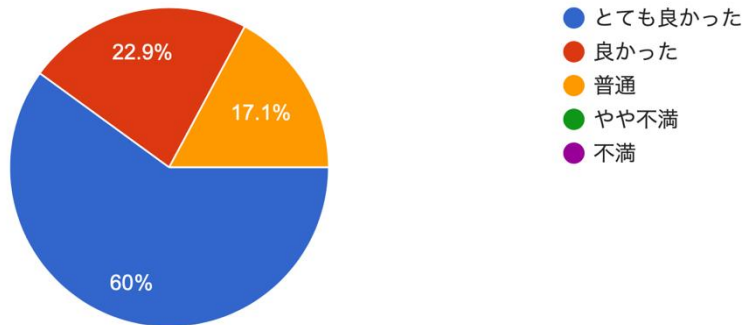
東先生、授業外の時も どの様な授業がよいか思いを巡らせて 学習者の方々に寄り添い、教室の中では 更に心理的安全性を大切にされていることが印象的でした。心理的安全性を保障するために 間違ってもよいのだと伝える事、教室のルールを予め説明する事なども勉強になりました。ありがとうございます。

2023年 秋のセミナーアンケート結果 (回答 35名)

「教科書を教える」？「教科書で教える」？
ー 授業力 ブラッシュアップトレーニング ー

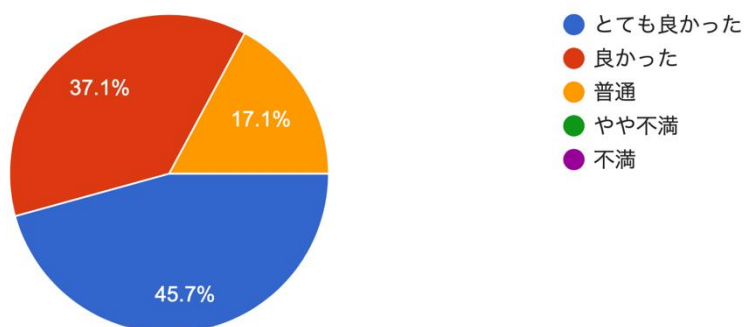
講義① 教師力・授業力が高いとは？

35 responses



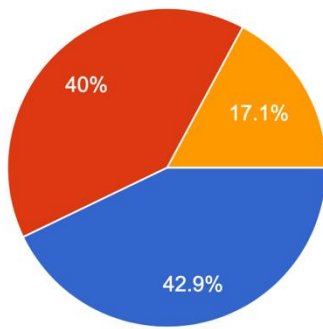
講義② ガニエの9教授事象について

35 responses



講義③ ARCSモデルについて

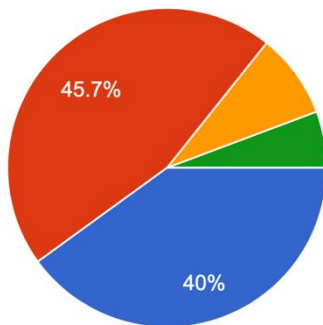
35 responses



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- やや不満
- 不満

グループワークと発表 15:15 -16:00

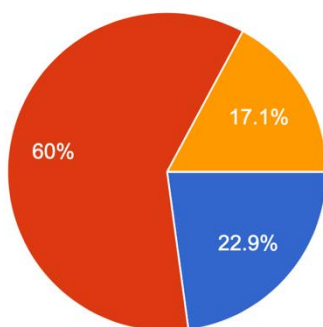
35 responses



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- やや不満
- 不満

質疑応答 16:00 - 16:30

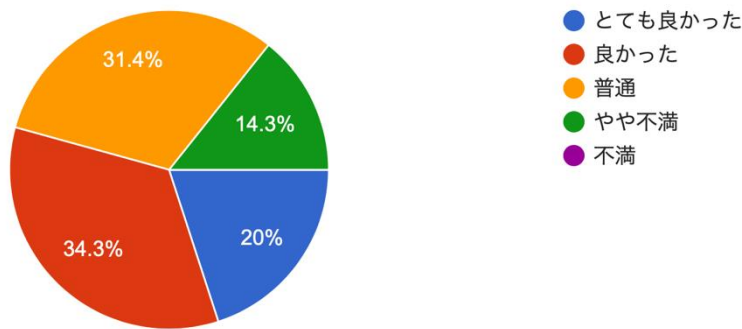
35 responses



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- やや不満
- 不満

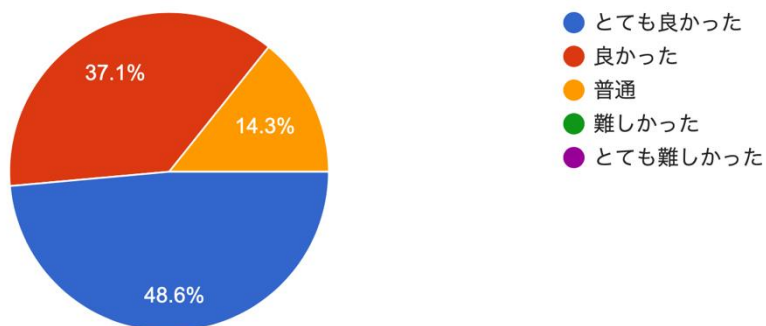
時間配分についてどう思いましたか。

35 responses



講義のテーマについてどう思いましたか。

35 responses



講義に関する感想をご自由にお書きください。 24 responses (原文のまま)

東先生の実践内容が ARCS モデルに落としこまれて（後付けとはおっしゃっていましたが）、とても分かりやすかったです。独自性という点もとても勉強になりました。

1つだけ気になったのは、「教科書で教える、教科書を教える」というセミナー題名が、本編の内容と微妙にずれていたように思いました。セミナーの題（テーマ）を見て参加を決める方もいらっしゃると思うので、その点が少々残念だったと思いました。

東先生の講義の順番、目線や態度、話し方が、まさにチェックリストの内容のお手本のように、実際講義を受ける生徒にどう好影響を与えることができるかを身を持って体験できて、大変勉強になりました。

短い休憩を入れてもらいたかったです。

先生ご自身が話しすぎた、とおっしゃっていましたが、実際座学の時間が長く、講義自体は9教授事象では構成されていないのか…と思いました。特に午後は食後、座学、薄暗いのコンボで休憩も少なかったものでややつらかったです。

教科書で教える授業は人として教師としての力量が試され、人生を通しての引き出しの多さやソフトスキルがいかに重要かと痛感しました。また、結局は信頼関係、という一言が非常に腹におちました。全体を通して、初めて知ることが多く非常に勉強になりました。ありがとうございました。

授業力改善のために、すべきことはなんとなくわかっているようでも、今回のように研究者の教授事象やモデルで具体的に示されたことで、整理して深く学べた。

先生の具体的実践を教授いただいたことで刺激を与えていただいた。授業に変化をもたせられるよう実践しようと思えた。

ワークショップの時間がとても短くなってしまったのが、残念です。

日本語授業ロボットになっていないか？との問いかけにドキッとした。数をこなし、授業はお決まりの流れでできる。けれど生徒を本当に見ていなかったのかも？と内省の機会となった。生徒に寄り添った内容、流れ、「わかる」から「できる」を自信をもって感じられるような授業にできるよう見直そうと思う。また東先生のおっしゃっていた「妄想力」の大切さもその通りだと深く感じた。

楽しい講義でしたが、もう少しグループワークが長ければ良かったと思います

教師としては誰もが知っていると思われる、「教科書を教える」「教科書で教える」に関しての講義により、新たにそれぞれの教師がマンネリ化した授業からいかに脱出できるかを考察する良い機会になったことは大変有意義であったと思います。また、教師の経験が少ない教師の方々にも、授業のデザインを考える上で有益だったと思います。

とても勉強になり、有意義な講義でした。引き込まれる話し方で楽しかったです。

新たな学びと確認ができた講義でした。東先生が終始笑顔でお話をされているところも、大変勉強になりました。ありがとうございました。

実践できそうな具体例が多くて為になったのですが、早すぎたり声が小さかったりした部分があってメモするのが大変でした。

今回の講義のお陰で、自分の中で足りている部分、足りない部分が明確になりました。どの部分をもう少し発展させればいかなど、整理ができて非常によかったです。ただ、グループワークの時間が短過ぎたのが残念でした。グループに分かれて紹介しあって、ハイ終わり！だったので、グループごとに何か教材か教案を考える時間があったら、更によかったですね…。でも、講義には満足しています。ありがとうございました。

講師の方のスタイルもあると思いますが、せっかく Zoom ではなく、対面で行なっているので講義形式もいいのですが、もう少し相互のやり取りがあってもよかったかなと思いました。特に昼食後は休み時間も無く、集中して聴くのが辛かったです。グループワークでは、最初何をすれば良いのかよく分かりませんでした。

東先生のメリハリのある楽しい講義に惹きつけられ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

せっかく東先生にガニエの9教授事象や ARCS モデルについてお話を伺ったので、振り返りの時間にはその理論を活かす授業について話せばよかったと思いました。

グループワークにもう少し時間があれば、もっと色々なアウトプットが見られたのでは…と思います。

関西弁での講義、いつもよりちょっとリラックスして受けることができた気がします。いろいろな新しいアイデアをありがとうございました。

授業を見直すことができ、とてもよかったと思います。ありがとうございました。

今回の講義のキモとなったのは、既存の教科書に頼りすぎず、それぞれの場所や対象によって、臨機応変に教材や教え方をローカライズ又はカスタマイズする事がどこまで可能か、という事だと思います。そういう意味で、東先生がカタルで独自の教材を編纂なさったのは素晴らしい例です。でも、私を含めセミナーに参加された方々の多くは、専任ではなくパートのような働き方で、しかも趣味としての日本語を教えている場合が多いと思います。そのような現場での日々の小さな工夫やアイデアについて意見交換できるのが、私にとってのセミナーの楽しみなのですが、今回は残念ながらその時間が短すぎました、、、次回に期待します！

長年、教職を務めているとどうしても自分のスタイルがマンネリ化し、そこに満足してしまうところもあるので、あらためて、自分の教授法を振り返るいい機会になった。

授業に対する取り組み方について、考え方が根本からリフレッシュされる内容の講義でした。ありがとうございます！

今回の講義では、日本語を教える上での心がけや注意点、授業の組み立てや生徒への働きかけなど、数多くのことを再確認でき、私にとって非常に有意義な講義でした。東先生の説明は分かりやすく、笑顔も親しみやすく、時に笑いを交えて、リラックスした雰囲気の中で受講できたこともよかったです。SNS や podcast・動画など、今までなかなか利用できずにいましたが、講義での例やグループワークでのみなさんのご経験・アイデアなども参考に、今の時代ならではの物も、しり込みせずに上手に取り入れるようにして、学習者がスイスにいても使える日本語、また、日本や家族とつながることができる生きた日本語を教えていけたらと思います。東先生や参加者のみなさんの熱意を感じ、たくさんの方のエネルギーを頂きました。今後も勉強させていただきます。どうもありがとうございました。

セミナー全般、運営などに関して気がついたこと、今後のセミナーのご提案がありましたらお書きください。23 responses (原文のまま)

ブレイクアップの時間がもっと欲しかった。また、地域ごとのサブグループができればよいと思います。

全てが準備万端、完璧でした。また、お弁当が上品な味でとても美味しかったです。いつもながら役員さんの気の利いた準備で、気持ちよくセミナーに参加できました。ありがとうございました。

今回のようにいつも9月の第一週目の日曜日の開催にしてほしいです。

予定通りでスムーズでした。昼食も美味しかったです。4人の役員さんたちでこれを準備されるのはかなり大変だろうと思いました。自分を含め「忙しい」ことが理由で役員の仕事を引き受けられないけど、秋のセミナーボランティア、など限定的なお手伝いならできそうなのでもっと会員で仕事を分担するのはどうでしょうか。

企画された方々の細かい気配りに感謝します。

役員の方々、多くの方々がセミナーや会を支えられていることに感謝しかない。

午前中に5分の休憩があればよかったです。

講師の先生に伺った上で、講義中でもトイレに行ってもよいとし、セミナー開始前にそう参加者に伝えるのはどうでしょうか。女子トイレが2つしかないので、許されるのでは。

ワークショップやアクティビティーの時間をうまく入れて、その間に自由にトイレに行かれるようにしてはどうでしょうか。難しいと思いますが。

お弁当がとてもおいしくて、量もたっぷりでした。次回も同じところで注文していただきたいです。

いつもよくオーガナイズされていて感謝しています。ありがとうございました。

素晴らしいチームワークで、見ているだけで感動しました

特にありませんが、会長はじめ役員の皆様お疲れ様でした。来春のセミナーをすでに楽しみにしています。

煮物や胡麻豆腐等、お弁当がとってもおいしかったです。

休憩が少なく思いました。換気がもっと頻繁に出来たら、とも思います。全般的に満足です。どうもありがとうございました。

午後暑いときは、窓を開けてほしい。

お疲れさまでした。完璧なオーガナイズで感謝です。ありがとうございました！

グループワークの時間がもう少しあればいいなと思いました。

お弁当がとてもおいしかったです。

コロナ時のように、オンラインセミナーも同時に開催して頂けると嬉しいです。

午前も休憩時間はあったほうが良い。

役員の皆様、どうもありがとうございました。

いつも素晴らしいセミナーを企画してくださり、ありがとうございます。講義中はずっと窓が閉まっています、後半は特にちょっと息苦しい感じがしたので、換気のためにも少し隙間をあけておいた方が良いのではないかと思いました。今回のお弁当は、ボリュームもあっておいしかったです。

運営委員のみなさんにはいつもお世話になっています😊

役員会が新体制になって初めてのセミナー、お疲れ様でした。事前のお知らせから当日の運営に至るまで、全て完璧！とても気持ちのよく受講できました。役員の皆さん、ありがとうございました。

お忙しいなか、セミナーの事前案内、当日の進行、参加者への応対や案内など細かな配慮が感じられ、セミナーが滞りなく進むよう尽力されているのが伝わりました。ありがとうございました。

今後のセミナーで講義をお願いしたい講師の方や、専門分野がありましたらお書きください。

6 responses (原文のまま)

「評価」を上手く取り入れて学習効果をあげる方法について学びたいです。

苫野一徳先生（教育哲学、熊本大学） 稲垣みどり先生（日本語教育、現象学、山梨学院大学） 宇佐美洋先生（評価論、コミュニケーション論、東京大学）

語彙の増やし方について

國學院大学教授（まだ准教授かもしれません） 加納なおみ

<https://k-read2.kokugakuin.ac.jp/profile/ja.0d1546df138e10c9.html> 特に、外国語教育におけるトランスランゲージングについての講義をお願いできればと思います。トランスランゲージングは比較的新しい分野ですが、特に海外で日本語を教える教師にとって、知識として知ること大切だと思います。日本には、トランスランゲージングに詳しい専門家は少ないので貴重なお一人だと思います。

インストラクショナルデザイン。今回の講義のテーマは大変よかったです。自分の教師力や授業力を見直していけるようなテーマを引き続き学びたいなと感じました。

山内博之先生、中俣尚己先生…

編集後記

2023年春のセミナーの報告書の作成が、役員となった私の最初の仕事だった。前任のMさんとベルンでお会いして、半日かけて懇切丁寧な引継ぎをしていただいたことが、つい最近のことのように思える。編集は、最後の最後まで推敲を繰り返し、「本当に完成できるのか」と、どんどんゴールが遠のいていくような気がした。しかし、天は、いや、役員メンバーは私を見捨てず、特にCさんは、同じ学校に勤めているおかげもあり、貴重な空き時間を返上してまで空き教室（時には校長室をお借りしたことも！）で、つきっきりで編集作業につき合ってくださいました。冒頭に、「最初の仕事」と書いたが、実際には新旧役員の皆さんの支援なしでは到底できなかった。

今回の秋のセミナーの報告書は、東先生の講義資料やグループワークでの成果物、今回感想文の作成をご担当してくださった会員のお二人の感想文を読みながら、講義内容を改めて振り返ったり、「外でお弁当を食べただなんて、遠足以来だったかも?!」「多くの方々に励ましや労いの言葉をいただいたなあ。」とセミナー当日のことを感慨に浸ったりしながら、作業を進めることができた。今回の報告書の作成も、役員や会員の皆さまのご支援の賜物の言葉に尽きる。

高等学校の教科書に掲載されている鷲田清一氏の評論「真の自立とは」で、「自立とは、（中略）いざというときに助け合う相互依存のネットワークをいつでも起動できること。」「自立したフォロワーがしなやかにいつも全体を見ていること、すなわち『賢いフォロワーシップ』が実は重要なのです。」と書いてある。スイス日本語教師の会には、助け合う相互依存のネットワークがあるのが強みだ。このネットワークのパイプ役とフォロワーになれるように努めていく所存である。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

《M. MT》

次回のセミナーでまた皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。

2023年11月 スイス日本語教師の会 役員一同